

## 本邦で初めて分離されたヒトアデノウイルス 57 型 (HAdV57) の一例

辰己智香・飯塚節子・和田美江子・三田哲朗・花岡希<sup>1)</sup>・藤本嗣人<sup>1)</sup>

1)国立感染症研究所 感染症疫学センター

第 15 回日本アデノウイルス研究会 (平成 26 年 11 月 8 日 : 東京都)

2014 年 6 月島根県松江市において、本邦で初めてヒトアデノウイルス 57 型(HAdV57)が分離された。

分離されたウイルスは HAdV 中和用抗血清(1~6, 31 型)を用いた中和試験では、同定できなかった。そこで遺伝子配列を調べた結果、ヘキソンコード領域では HAdV57 と 98%、ファイバーコード領域では HAdV6 と 98%、ペントンコード領域では HAdV1 と 99%一致し、分離株は HAdV57(P1/H57/F6)と決定された。

抗血清を用いた中和試験では不完全ながら HAdV6 抗血清で CPE が抑制されるとの報告があり、当所でも同様の傾向が認められたことから、これまで分離され HAdV6 と同定された分離株に HAdV57 が混在している可能性が考えられた。

当所において過去に HAdV6 と同定された株について、遺伝子解析をおこなったところ、HAdV57 が 2 例検出された。